

しょうがいしゃさべつ
「障害者差別をなくすために必要なこと」
ひつよう

こうし
【講師】

のざわ
野澤

かずひろ
和弘氏

まいにちしんぶんろんせついいん
(毎日新聞論説委員)

ねん がつ にち にち
2014年5月25日(日)

かいじょう こうえん
開場 13:30 講演 14:00~16:30

たまだいら もり かんない たまだいらこうりゅう かい しゅうかいしつ
多摩平の森 ふれあい館内 多摩平交流センター 3階 集会室6

しゅ さい じりつせいかつ ひ の
【主催】 自立生活センター・日野

こう えん ひ の し ひ の しきょういくいいんかい
【後援】 日野市・日野市教育委員会

じょ せい こうえきざいだんほうじん ふくしざいだん
【助成】 公益財団法人 キリン福祉財団

プロフィール

のざわかずひろ
野沢和弘

1983年毎日新聞入社、津支局、中部報道部（名古屋）を経て92年に東京社会部へ。いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から論説委員（社会保障担当）。

元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者制度改革推進会議差別禁止部会委員、厚労省今後の精神保健のあり方検討会委員など。
権利擁護と成年後見の情報誌「Panda-J」編集長。

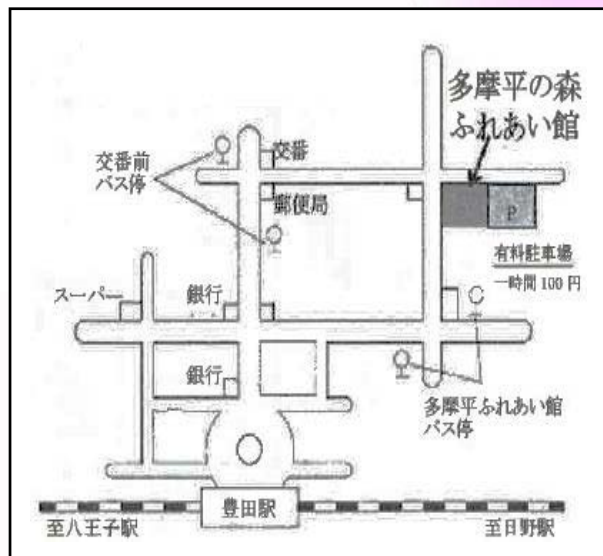
主な著書に「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「条例のある街」（ぶどう社）、「廃墟の中の希望」「なぜ人は虐待するのか」（Sプランニング）、「わかりやすさの本質」（NHK出版）



障害者の差別を禁止する法律「障害者差別解消法」が2013年6月に成立し、また12月には「国連障害者の権利に関する条約」の批准が締結され承認されました。今まさに障害者を取り巻く社会が大きく動き出そうとしている訳ですが、そのきっかけとも言える障害者差別をなくす条例が2006年10月、日本で初めて千葉県で作られました。今回、この条例づくりの研究会にてご活躍された、障害当事者のお父さんでもある毎日新聞社論説委員の野沢和弘氏をお迎えしお話しして頂きます。

障害者が置かれている状況を皆様にご存知いただき、差別されることなく誰もが暮らせる地域とは何か考える機会となればと思います。

ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。



【会場住所】 日野市多摩平2丁目9番地
☆JR中央線 豊田駅より 徒歩10分

【申込・問合せ先】



自立生活センター・日野 (担当: 藤田・大川)

[TEL] 042-594-7401 [FAX] 042-594-7402

[E-mail] cilhino@view.ocn.ne.jp

定員: 70名 (参加費 無料) *締め切り: 5月16日(金)

FAX、メールでお申し込みの方は、件名に「講演会申し込み」とご記入ください

手話通訳、要約筆記を準備しています

点字資料など情報保障が必要な方はお早めにご連絡ください

この講演会は、公益財団法人キリン福祉財団の助成を受け開催いたします。